

安全データシート

作成日：2003年11月18日

改定日：2023年04月27日

1. 製品及び会社情報

製品名：ローヤル

会社名：鈴木油脂工業株式会社
住所：大阪府大阪市東淀川区下新庄 1-8-23
電話番号：06-6326-1118
FAX 番号：06-6326-0181
緊急連絡先：営業統轄本部
電話番号：06-6326-1118
推奨用途及び使用上の制限：業務用洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

区分に該当しない

【健康に対する有害性】

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B

【環境に対する有害性】

区分に該当しない

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】

なし
警告
眼刺激

注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

【安全対策】

よく注意書きを読み取り扱うこと。
取り扱った後、手を洗うこと。保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しいところで保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

| 成分名 | CAS No. | 含有量 (%) | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|----------------|---------|---------|-----|----------|-------|
| | | | | (化審法) | (安衛法) |
| アルコール系溶剤 | — | — | — | — | — |
| 合成イソパラフィン系炭化水素 | — | — | — | — | — |
| 保湿剤 | — | — | — | — | — |

| | | | | | |
|------------|---|---|------------------|---|---|
| 非イオン系界面活性剤 | - | - | - | - | - |
| 増粘剤 | - | - | - | - | - |
| 香料 | - | - | - | - | - |
| 染料 | - | - | - | - | - |
| 精製水 | - | - | H ₂ O | - | - |

注意：上記記載の-は、不明又は非公開を示す。

4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。水でうがいをする。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 多量の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 応急措置をする者の保護： 特に必要としない。

5. 火災時の措置

- 消火方法： 周囲の火災に応じた消火方法を取る。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼への接触やミストの吸入を避けること。
- 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起こさないよう措置を講じること。
- 封じ込め及び浄化方法・機材： こぼれたものを極力かき集めて、密閉容器に回収する。残りは大量の水で洗い流すこと。
- 二次災害の防止策： 特に必要としない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 取扱い技術的対策： 適切な眼、顔面用の保護具を着用する。
 - 局所排気・全体換気： 局所排気、全体換気を行う。
 - 安全な取扱い上の注意事項： 眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいない。
- 保管
 - 保管条件： 容器を密閉して冷所で換気の良いところで貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

| 成分名 | 管理濃度(安衛法) | 許容濃度 | | |
|----------------|-----------|--------|----------------|-----------------|
| | | 日本産衛学会 | ACGIH(TLV-TWA) | ACGIH(TLV-STEL) |
| アルコール系溶剤 | - | - | - | - |
| 合成イソパラフィン系炭化水素 | - | - | - | - |
| 非イオン系界面活性剤 | - | - | - | - |
| 増粘剤 | - | - | - | - |
| 香料 | - | - | - | - |
| 染料 | - | - | - | - |

注意：上記記載の-は、設定されていないことを示す。

- 設備対策： 特に必要としない。
- 呼吸器の保護具： 特に必要としないが、適切な保護マスクを着用する。
- 手の保護具： 特に必要としないが、適切な保護手袋を着用する。
- 眼の保護具： 適切な保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具： 特に必要としないが、適切な保護衣を着用する。
- 衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------|-------------|
| 物理的状態、形状、色など： | 淡い赤橙色の粘稠な液体 |
| 臭い： | 芳香臭 |
| pH： | 6～8 |
| 沸点： | データなし |
| 融点： | データなし |
| 引火点： | データなし |
| 発火点： | データなし |
| 爆発限界 | |
| 上限： | データなし |
| 下限： | データなし |
| 蒸気圧： | データなし |
| 相対蒸気密度（空気=1）： | データなし |
| 密度： | 0.9（20℃） |
| 溶解性 | 水、一部の有機溶媒 |
| オクタノール／水分配係数： | データなし |
| 分解温度： | データなし |
| 臭いのしき値： | データなし |
| 蒸発速度： | データなし |
| 燃焼性： | データなし |
| 粘度： | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------|
| 安定性： | 通常の使用条件で安定。 |
| 反応性： | 自己反応性なし。 |
| 避けるべき条件： | データなし。 |
| 避けるべき材料： | データなし。 |
| 危険有害分解生成物： | データなし。 |

11. 有害性情報

| | |
|-------------------|-------------------------------------|
| 急性毒性： | |
| アルコール系溶剤 | 経口 マウス LD ₅₀ 5,830mg/kg |
| | 経皮 マウス LD ₅₀ >2,000mg/kg |
| 合成イソパラフィン系炭化水素系溶剤 | 経口 ラット LD ₅₀ >7,000mg/kg |
| | 吸入 ラット LD ₅₀ >5,000mg/kg |
| | 経皮 ウサギ LD ₅₀ >5,000mg/kg |
| 非イオン系界面活性剤 | 経口 ラット LD ₅₀ 1,090mg/kg |
| 増粘剤 | 経口 ラット LD ₅₀ >2,000mg/kg |
| | 経皮 ウサギ LD ₅₀ 11,011mg/kg |

12. 環境影響情報

| | |
|----------------|-------------------------------------|
| 魚毒性： | |
| アルコール系溶剤 | TLm 値; 7,400ppm（ヒメダカ/48h） |
| 非イオン系界面活性剤 | LD ₅₀ 11.6mg/L（ヒメダカ/48h） |
| 生態毒性： | |
| 合成イソパラフィン系炭化水素 | LC ₅₀ >1ppm（ミジンコ/48h） |

13. 廃棄上の注意

| | |
|-------------|---|
| 残余廃棄物： | 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 |
| 汚染容器及び包装資材： | 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|-------|--------------|
| 陸上輸送： | 消防法の規定に従う。 |
| 海上輸送： | 船舶安全法の規定に従う。 |
| 航空輸送： | 航空法の規定に従う。 |

15. 適用法令

| | |
|------------|-----|
| 労働安全衛生法： | 非該当 |
| PRTR 法： | 非該当 |
| 消防法： | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法： | 非該当 |

16. その他の情報

責任の限定について：

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。